

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	広島文教大学(学部・学科等の課程)			設置者名	学校法人 武田学園				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成30年度)			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
教育学部	教育学科 初等教育専攻	平成31年度	120人	幼一種免	令和元年度	-	-		-
				小一種免	令和元年度				
	教育学科 中等教育専攻	平成31年度	30人	中一種免(国語)	令和元年度	-	-		-
				高一種免(国語)	令和元年度				
				中一種免(英語)	令和元年度				
高一種免(英語)	令和元年度								
人間科学部	人間栄養学科	平成14年度	70人	栄教一種免	令和元年度	66人	5人	5人	0人
入学定員合計			220人	合計		66人	5人	5人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成31年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和2年1月20日（月曜日）

実地視察大学：広島文教大学

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題なく実施されているものの、その他では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 平成30年度に改組に伴う課程認定を受けたばかりであり、その着実な実施が期待されるが、教育課程については、施行規則上の最低単位数を超えて体系的に設定し、大学における学習と学校現場における学習との往還を意識している点などは評価できる。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職を目指す学生全てに対して、一定の水準以上の教職指導が実施されるように、体系的かつ組織的に指導していくための体制を検討いただきたい。特に、教職を目指す学生の自主的な学びを醸成するため、1年次のできる限り早い段階から、履修カルテを作成するなど、学生の4年間を見据えた教職指導が実施できるよう検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教職課程の内外を通じて、学校現場の観察や、教育ボランティア等の活動が充実されている点は評価できる。
- 教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も地元教育委員会・学校等との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

（施設設備、図書館を確認した上で）

- 教職関連図書・雑誌については、おおむね整備されている。教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- 教職課程に関する施設について、整備・充実している状況が確認された。

7. その他特記事項

- 教職課程の授業科目を担当する教員については、現在関連する「活字業績」を有する場合であっても、より時代に即した業績を備えていくことが適当であり、大学紀要や教職センター年報に掲載するなど、大学において各教員が常に研鑽^{さん}に努めていくよう支援することに引き続き努めていただきたい。